和歌山県立向陽高等学校

発行日：H26．10．10

向陽 SSH NEWS 第３号

編集：向陽高校SSH事務局

6月12・13日

向陽中学校2年生 体験学習合宿
白浜実験所ナショナルトラスト「天神崎」・近畿大学水産研究所本部
かわべ天文台、みなべ町千里の浜

中学2年生では、環境学（総合的な学習の時間）で、自然科学と環境保全をテーマに学習をすすめています。まず、5月28日に玉井済夫氏（天神崎の自然を大切にする会・理事）を本校にお迎えして、ナショナルトラスト運動発祥の地田辺市天神崎についての講演をいただき、6月13日に現地学習をしました。

天神崎では、玉井済夫氏、弓場武夫氏（天神崎の自然を大切にする会・理事）、田名瀬英朋氏（元・京都大学臨海実験所職員）を講師に迎え、日和山で火災跡地の植栽や湿地の見学、磯の生物観察を行いました。磯では、ウニやナマコ等の棘皮動物や、ウミウシやタカラガイなどの軟体動物、その他に変わった甲殻類のカメノテやフジツボ、魚類等、たくさんの生物を観察しました。生徒は実際に手に取り、その生態や形態を学ぶことによって、本物が持つ魅力を、五感を使って感じ取ることができた様子でした。

また、今年は白浜町の近畿大学水産研究本部・白浜実験所を訪れました。研修はグループに分かれて、多くの先生方から教えていただきました。まず教室では、映像を使った養殖の歴史や最新技術の紹介があり、生徒達は興味深げに聞いていました。次に屋外の大きな養殖網生けすでは、大きく育ったマダイやカンパチを、生で見てとても興奮し世界トップレベルの人工ふ化からの養殖技術の話を聞き入っていました。

さらに、昨年と同様にみなべ町の千里の浜を訪れ、前田一樹氏（みなべ町教育委員会　教育学習課職員）から、ウミガメの生態や産卵についてお話を伺いました。生徒達は現地で、千里の浜が地球規模で見てもウミガメが産卵に集まる貴重な場所であることを実感し、講義後の清掃活動は意欲的に取り組みました。

生徒の感想より

「天神崎は、黒潮の影響を受けて南の海で生まれた海洋生物の幼生が運ばれてくるなど生物の多様性がありとても貴重な場所だと学びました。このことから天神崎の大切さをもっとたくさんの人に伝え、これからも守っていく必要があると考えました。」「ナショナルトラスト運動で山を保全することで、海の生物が守られていることから、里山と海がつながっていることを学びました。そして、これからも海の生物を守るように努力していきたいと思いました。」「千里の浜では、ウミガメの話を聞き和歌山にやってくるアカウミガメが希少種で人間の保護が欠かせない状況であることがわかった。個体数が減少している原因は様々ではあるが、僕たちができることは、砂浜の清掃活動を行い砂浜の環境を整えなければならないことがわかった。またウミガメのためだけにかかわらず、自然環境を整え小さな環境について考え、環境を守ることが大切であると思った。」「かわべ天文台での天体観測では天候が悪く星をみることはできなかったが、天体望遠鏡の話を聞き関心が高まりました。さらに、都市部では天候のせいではなく街の明かりで星が見えないという光害という言葉があることを知り、肉眼で夜空に星々をみることができる地域が減ってきているのだなと思いました。」

7月11日

第１回SSH運営指導委員会開催される

７月11日（金）第１回ＳＳＨ運営指導委員会が開かれました。

運営指導委員の先生方、和歌山県教育委員会と本校職員が出席し、会議が進められました。委員長には、和歌山大学の石塚教授が、副委員長に和歌山県立医科大学の坂口教授が選ばれました。

その後、本校の事務局より、昨年度のＳＳＨ研究開発の実施報告や今年度の事業計画などの説明、質疑応答が行われました。

運営指導委員の先生方から、昨年度の取組、生徒の活動について、検証していただきました。

また、再指定４年目を迎えたSSHの活動をさらに充実させるため、今後の取組やアンケート解析などについて、ご意見・ご助言をいただきました。

向陽SSH運営指導委員の先生方

石塚　亙　先生	和歌山大学教育学部 教授
島田 哲夫 先生	和歌山大学システム工学部 教授
秋山 演亮 先生	和歌山大学宇宙教育研究所　所長
坂口 和成 先生	和歌山県立医科大学医学部 教授
細井 美彦 先生	近畿大学生物理工学部 教授
和坂 貞雄 先生	和歌山県工業技術センター 所長
阪本 博子 先生	雑賀技術研究所 理事
北垣 有信 先生	和歌山市立西脇中学校 校長

ＳＳＨ関係　今後の予定

10月17・18日　SSHラボツアー宿泊研修（大阪大学、京都大学）：高校環境科学科1年

10月27日（月）ﾀﾞｰﾄﾌｫｰﾄﾞｸﾞﾗﾏｰｽｸｰﾙ交流　：高校環境科学科１年生

AM　科学英語　サイエンスクイズ交流 ポスターセッション　PM　実験講座（和歌山大学、慶応大学）

11月5日（水）実験講座「中高合同ｾﾞﾐ」　：高校環境科学科1年生　中学3年生

（和歌山大学教育学部・ｼｽﾃﾑ工学部、近畿大学生物理工学部）